

長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく 「里山整備利用地域」の概要

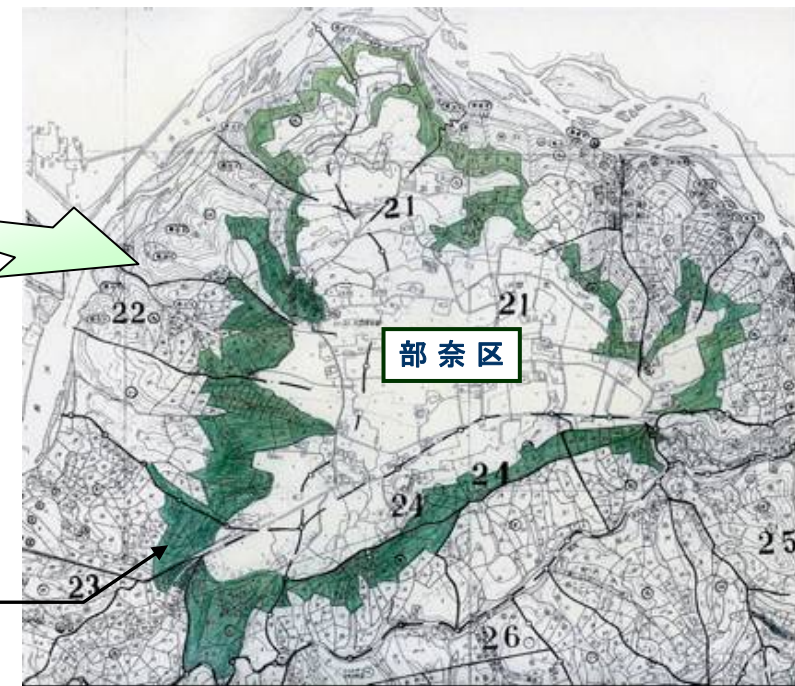
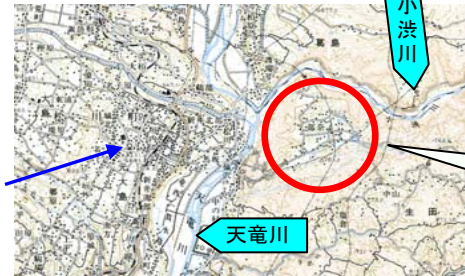
- 1 地域名 松川町部奈（べな）地区里山整備利用地域
- 2 所在地 下伊那郡松川町部奈
- 3 認定森林面積 51ha（平成18年3月31日認定）
- 4 地域の特徴

部奈地区は天竜川と小渋川の合流点東側、川より200mほど高い河岸段丘上にあり、集落を森林が囲んでいる。

中央アルプスを望むことができ、平成14年から部奈区と地域づくり団体「アルプスビューファームズ部奈」が協働し、地区周辺の里山を利用した公園集落実現のための活動を展開している。

コナラを主体とする広葉樹の二次林やヒノキ等の人工林は、手入れの行き届かない森林が依然として多く、さらにアカマツの松くい虫被害による枯損木もみられるが、この放置されている地区周辺の森林を整備し、多目的に利用可能な里山を復活させ、集落全体を「公園」にして活性化につなげようとしている。

松川町役場



里山整備利用地域
認定森林区域

5 森林の現状

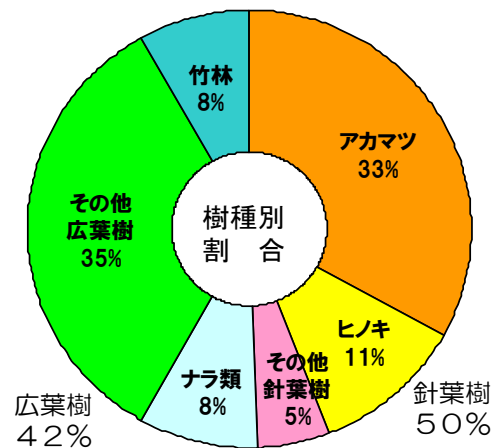
(1) 所有形態別

所有区分	所有面積 (割合)
団体有林	1.71 (3%)
個人有林	49.4 (97%)
計	51.11 (100%)

所有者数・・・63者

(2) 樹種別

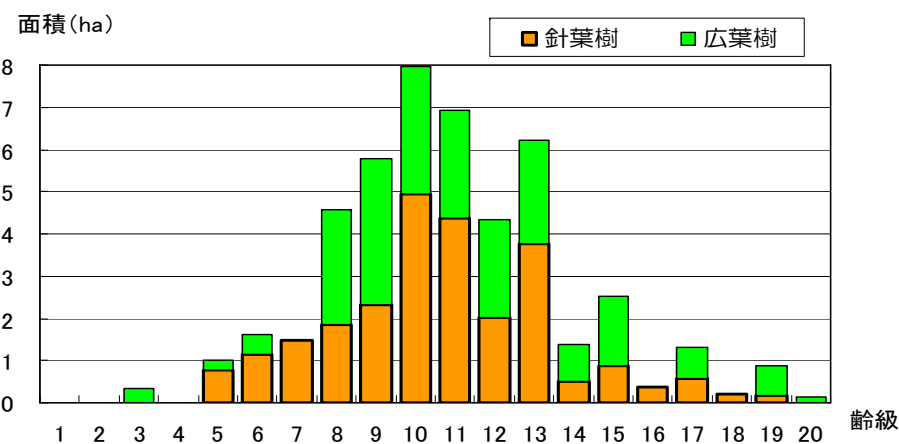
樹種名	面積 ha
アカマツ	16.86
ヒノキ	5.70
スギ	2.43
カラマツ	0.35
ナラ類	4.33
その他 広葉樹	17.34
竹林	4.10
計	51.11



現況写真



(3) 齢級別内訳



松川町部奈地区 里山整備利用推進協議会

(平成18年2月19日設立)

- ・地域住民 7名
 - ・地域団体 8名 (8団体)
 - ・地域づくり団体 5名 (4団体)
- 構成員合計 20名

6 今後の取り組み

部奈地区の中央アルプスを望む素晴らしい景観、森林に囲まれた集落のもつ豊かな自然と昔ながらの農村風景を活かした地域活性化策として、集落と周囲の里山を公園化し、**集落全体を公園集落とする取り組みを展開する。**

そのために、現在放置されている**森林を整備して多目的に利用可能な里山を復活させる**とともに、史跡、展望、公共施設、植生など特徴ある拠点公園を手作りで整備し、公園、集落内、里山を散策できる周遊路も整備していく。

景観、森林、山野草、史跡、農業などを有機的に結合し、地区外からも多くの方々が訪ねてくる公園集落を創造することで、**部奈地区の活性化**を図っていく。